

令和8年度 緑のカーテン 実施報告書

豊島区 環境清掃部環境政策課
事業グループ

1.実施状況

(1)取組校・施設数 合計 55
＜内訳＞ 区立小中学校:19 校
区施設(幼稚園含む):36施設

(2)施工面積 合計:約 1318.340 m²
＜内訳＞ 小中学校:約 726.220m²
区施設:約 592.120 m²
※植物で覆えた面積の合計約 746.156 m²

(3)実施報告の回答数 合計 55

2. 緑のカーテンづくりに携わったのはどなたですか。(複数回答可)

単位:校・施設数

児童・生徒	27
利用者	6
教員・職員	38
その他	16

3. 緑のカーテンを仕立てることで、涼しいなどの効果を感じましたか。

(複数回答可)

単位:校・施設数

感じた	28
感じない	9
わからない	18

【自由意見欄】

- ・昼の日差しが入りやすいので、日差しがやわらいで感じる事ができた。
- ・視覚からの涼を感じられた
- ・アサガオの花が夏の暑さを和らげる効果があった
- ・仕立てた所とそうでない所では体感温度が違う
- ・緑があることで涼しく感じられた。また、緑があるところは他に比べて明らかに涼しかった。
- ・日向よりも涼しいことを実感できた。
- ・見た目にも涼しく感じ、日陰ができることで少し涼しさを体感できた気がします。
- ・日陰になったため、テラスが涼しかったです。
- ・猛暑日において園児が砂場で遊んでいる際、緑のカーテンを仕立てたことで涼しさを感じた。
- ・室内に入る日差しが柔らかく感じ、葉がゆれる様子で風を感じる事ができた
- ・無機質なフェンスが緑で覆われて、見た目にも涼しさを感じられた
- ・緑のカーテンを仕立てることで直射日光を遮ぎれたため、ラウンジの室温が上がりすぎずに管理がしやすかった。また、陰になり見た目にも涼しく感じられた。
- ・日を遮れたため、薄カーテンの代わりになった。
- ・在室中、緑のカーテンがあることで涼しいとは感じないが、季節感があり涼し気ではあった。
- ・視覚的に涼しさを感じた。
- ・外観からも涼しく、また1階の子育て室からは全面にゴーヤの緑のカーテンとなりました。2階の活動室も半分以上が緑のカーテンになりました。
- ・目に優しく涼しげな感じを与え、ほっとする空間を演出できた。
- ・緑のカーテンの内側は周りより気温が低いと感じた。
- ・室内の遮光に役立ち、エアコンの設定温度を下げすぎずに済んだ
- ・児童が過ごす部屋の東向きの窓にグリーンカーテンを設置したので、見た目も涼やかで、午前中の日差しも若干ではありますが、遮ることができました。
- ・視覚的なこともあるかもしれないが、砂場の横面に設置したが、緑が涼やかだった。園庭は黒い遮光ネットで覆われてしまうので、緑を目にできることへの効果を感じている。
- ・緑で覆われていると涼しさを感じた。
- ・日陰になった所が涼しいのか子どもたちが遊んだり虫探しをしていた
- ・この施設のエントランスはガラス面が非常に大きく、午後の時間帯はカーテンを閉めなければならないほどに強い日差しが入るため、「緑のカーテン」を設置することにより利用者や近隣の涼しい休憩場所として。或いは「緑のカーテン」の花や実を楽しみにしている方々に非常に好評でした。
- ・グリーンカーテンの裏側にベンチを設置しているので、木陰となることや、風が吹くと葉が揺れることにより涼しさを感じる事ができた。
- ・目に緑色が飛び込んできると、涼しく感じた
- ・直射日光を防ぐことができ、意図的に日陰を設ける事ができた。
- ・日陰ができるので、日向よりも避暑できた。

4. 緑のカーテンに関する講座や授業などを実施したことがあれば、

記入してください。(抜粋)

- ・4年生の理科の学習で、季節の移り変わりと植物の成長の関係を観察・記録を基に考えました。
- ・4年生の理科の「植物の成長の授業」で実施。ゴーヤやヘチマを使い、種から成長させ、緑のカーテンへと行っている。
- ・校内の「緑のカーテン」活動の取組担当の学年として、4年生が育成中。総合的な学習で「環境学習」に取り組んでおり、これから「緑のカーテン」についても取り扱うことになっている。今後、枯れた植物のツルをバイオネストに活用する。また委員会活動で、SDGs委員会がこの取組を集会等で報告する予定。
- ・理科の学習でヘチマやゴーヤの観察を行った。
- ・4年生の春の植物、夏の植物の単元で扱ったゴーヤも一緒に育てた。
- ・理科の学習で日向と日陰の気温差を学ぶ際に、緑のカーテンの効果について考える活動を行った
- ・特別支援学級の理科にて「栽培」を行っており、その授業内で緑のカーテンを実施している。
- ・5月に緑のカーテン講習会を実施
- ・5月に「緑のカーテン講習会」を行いました。DVD 上映苗を持ち帰っていただきました。自宅に植えたなど報告して下さる方もありました。
- ・利用者の方と一緒に苗を植えることで交流ができた。
- ・緑のカーテン講習会を開催。
- ・地域コミュニティアプリに成長記録を投稿。
- ・講習会講師によるワークショップ、ゴーヤの DVD。プランターに苗木を2つ植えた。
- ・「緑のカーテン講習会」実施。例年ですと DVD の上映だけですが、講師の講義がありましたので好評でした
- ・ゴーヤ講習会
- ・児童にお世話係を募って活動しました。
- ・園児が、ゴーヤの成長を水やり活動を通して行い、ゴーヤの実を収穫した際は、試食し「苦い」「おいしい」と、感想を言って話題にしていた。食育活動を行うことができた。
- ・年長児が他の野菜の植え付けと一緒にいった。
- ・収穫したゴーヤで、野菜スタンプを年長クラスが実施した。
- ・児童を対象に、植物に関する授業を実施した。教員免許を所持する職員が、発芽や成長に必要な条件、進化の過程、繁殖の仕組みなどについて、理科の学習内容と関連付けながら、授業形式で説明した。
- ・SDGs委員会にて、水やりを担当。枯れないように、水やりを一生懸命取り組んでいた。また、4年生の理科の授業で、苗、ツル、葉、実、種を観察した。

5. 緑のカーテンを実施するにあたって、工夫した点、良かった点があれば ご記入ください。(抜粋)

- ・児童が育てたい植物も植えた。
- ・理科室前に朝顔で緑のカーテンを作成した。栽培員会で管理したり、5年生の理科教材で使用したりするなど、児童との関りをもつことで、折に触れ、緑のカーテンの意義や緑に触れる喜びを共有することができた。害虫被害により、葉や茎を食われてしまったため、実施場所を昨年度と変更して実施したことで、害虫被害が少なくなりました。
- ・いつもゴーヤだけだったが、アサガオを加えたことで、華やかになった

- ・1 日毎の植物の成長した点に印をつけて観察したことで、成長していくツルレイシやヘチマの様子に興味関心をもつことができた。
- ・子どもたちが愛情をもって種から成長させたものが緑のカーテンになったこと。
- ・3 階のベランダで育成しているが、上階に伝っていかないよう、育つ方向を調整。また、化成肥料を定期的に与えて、よりよく育つようにした。
- ・2 年生の生活科の中で紹介したことで、子どもたちが興味をもって学習に取り組むことができました。
- ・4年生の理科の年間を通した観察や6年生の植物の体のつくりとはたらきでは蒸散について身近な例として示すことができた。
- ・花壇の面積に限りがあるので、プランターも一緒に使って育てました。
- ・飼育栽培委員会の児童を中心に取り組みました。児童が毎日水やりをするなど積極的に取り組み、実ができると担任の先生にプレゼントするなどしていました。
- ・4年生の理科で、観察できたのでよかったです。
- ・日当たり水やりに留意しました。見た目が涼しげでゴーヤがなる様子を楽しめました。収穫したゴーヤはとても美味でした。
- ・頂いた苗と種を理科の時間に観察した。
- ・理科の学習と関連付けて実施できた
- ・生徒が自身でゴーヤの世話をを行った。
- ・日常的に目にする場所で管理することで、生徒の自発的な水やりにつながられた。
- ・複数の場所で栽培し、成長過程の違いから、生育に必要な条件を考えさせた。
- ・日常的に生活を行う教室の窓側で栽培し、快適な教室環境を整えた。
- ・昨年度のゴーヤの種も発芽させ、生育の違いを考えた。
- ・主事さんが日々の手入れを丁寧にしてくれた点
- ・深めのプランターに植えたり、地植えにしたことで、例年よりもよく育ちました。
- ・成長しやすい植物(ゴーヤ)を選別した結果、成長の過程を目視できた。
- ・成長を皆で見守ることができた。また収穫もでき、喜んでもらえた。
- ・苗を植えた時期の暑さが厳しかった影響か、茎や葉の広がりはいまいちだったが、実はよくついた。収穫したゴーヤを利用者に差し上げて喜ばれた。
- ・朝夕の水やりを十分にした。8 月の初旬でゴーヤが終わってしまいもうグリーンカーテンも終わりかと思われたが、剪定をしてゴーヤの葉と実が復活した。利用者さんとゴーヤの成長を楽しめたのが良かった。
- ・張ったネットがグリーンで覆いつくされるよう、種の植え付けを均等感覚でやった。水をたっぷりあげた。ゴーヤができてくると、利用者さんがとても喜んでくれた。
- ・当施設は、前の公園の木陰のため日照時間が短く、公園の街灯で夜間も明るいためか、ゴーヤの育ちが毎年いまひとつであるが運営協議会のメンバーさんと一緒に植えたり、育て方のアドバイスをいただいて実施した。
- ・利用者の方にできたゴーヤの実を配布したり、育ち具合が話題になったり、交流を持てたのがよかった
- ・育ち具合で、適量肥料を加えていった。
- ・育ったゴーヤをあげ、喜んで受け取る利用者の方が多くいた。
- ・古土リサイクルと追肥を行なった効果か今年はたくさんのゴーヤが実った。
- ・利用者と一緒に苗を植えることで職員と利用者との交流の機会となった。
- ・花が咲いた後の受粉。
- ・収穫したゴーヤを利用者へ配布。
- ・予め土づくりから工夫した。又、ゴーヤのカーテンがトンネルのようになるよう工夫した。
- ・昨年度プランターに苗木を3つ植えたが今年度2つに変えたことで小さなゴーヤでは、あるが沢山実をつけた。
- ・毎年のごとく水やりや受粉もしっかりやりました。うれしい事にビルの二階の日当たりが悪い環境にもかかわらず今年はとても大きく育ちました。
- ・立派に育ったようです。うれしかったです。
- ・講師の方のアドバイスで追肥と土を足すこと、また水やりに気をつけました。
- ・今年度は、ゴーヤ 2 株でしたので緑のカーテンには、できなかった。
- ・園芸関係の事業で携わっていただいている講師の方に、ご指導いただきながらカーテンづくりに取り組みました。
- ・水やりは日中の暑い時間は避け、朝一番と午後の日が沈んでから実施しました。
- ・成長が芳しくなく、急遽肥料を撒いたらよく実ができたので、当初から肥料も計画しておくで段取り良かった。

たです。

- ・毎日の水やり時間(勤務時間内ではあるが、日中をできるだけ避けるように工夫した。)
- ・水やりを朝晩、一週間に一度は栄養肥料。
- ・今年は枝を広く成長させることができ、室内にやわらかな光を取り込むことが出来た
- ・朝だけでなく、退勤前にも水やりをした。
- ・前はネット全面に発育しなかったのですが、今年度は全面とは言えませんが、グリーンカーテンと言える程度にはできました。
- ・植え付け、水やり、収穫などの経験ができ緑のカーテンへの関心が高まった。
- ・今年度は例年設置している外壁に、ミストを取りつけるということで、場所の変更が必要だった。砂場脇に、ゴーヤ、砂場上のぶどう棚にヘチマを這わせるようにしてみた。(酷暑や天候のためか、9月にヘチマが育ち始めました)
- ・ネットを2階テラスまで大きく張ることで成長しやすい環境を整えた。・水やりを子どもと一緒にいった。
- ・暑さの厳しい時は水やりと植える場所は日差しが強く当たりすぎない場所にした。
- ・あまり大きく育てることが出来なかった。もっと摘芯をするなど工夫が必要であった。
- ・保護者が通る所に植えたので、登園時などみてもらうことができた。
- ・あさがお、ふうせんかずらなどの弦の植物も一緒に育て、緑が多くなるようにした
- ・ヘチマやゴーヤなどの成長に興味を持ち、送迎時なども親子で成長を楽しみにしていたりと園庭のスポットになっていた
- ・去年は、1Fから2Fのテラスにネットを張り育てていたが、今年は2Fのテラスでの柵を利用してゴーヤを育てた。育ちは良くなかったが、2Fのテラスで遊ぶことが多い小さな子たちも、ゴーヤが見ることができた。
- ・植物に触れる機会を子どもたちに提供でき、収穫体験もできてよかった。
- ・なるべく土をたっぷりにして柔らかくするようにした。水はたっぷりとあげるようにした。
- ・成長期は定期的な整枝や摘心などを行い、ネット全体に葉が行きわたるように工夫した。
- ・梅雨の季節は地面近くの葉に泥水がはねて病気になるように、土の周辺の葉を切りました。
- ・土が水やりを重ねる毎に減っていき、地表に根が出てきてしまったので土増しを行う。
- ・駅近くのため、地域的に草虫やコガネムシなどの発生などがなく虫対策をしなくてすみました。
- ・天候に恵まれたため水やりに苦慮するかと思われましたが、朝晩の日課として交代で協力してくれる人がいて安心した。
- ・ネットの張り方を昨年とは変えて、プランターの下側に回して設置したので、強い風雨にあっても、しっかりと張った状態を保てた。
- ・台風などの大風に倒れないように支柱を増やした
- ・利用者である児童と一緒に、植物に関する学習から、プランターへの植え付け、日々の水やり、栽培作業、成長の記録まで一連の活動に取り組んだ。植物を育てる過程を児童とともに経験することで、継続して取り組む力や責任感を養うなど、社会経験を育む活動として実施することができた。
- ・実際にみて、観察することができた。毎年のもので、成長を楽しみにしている児童がいる。4年生で、実際に観察し、5、6年生の委員会の水やりを担当することで、縦割り関係ができていた様子もみられた。(4年生が観察できるように水やりをしようなど)
- ・緑の植栽により、環境への負荷を軽減するための良策であると感じている。「カーテン」の効果を実感できるためには、質の良い「苗」や「水の管理」等、植物の生育を助けるための環境整備も必須である。

6. その他、緑のカーテンに取り組んだ感想や児童・生徒や利用者などの反応、また緑のカーテン事業に関する環境政策課への意見などがございましたらご記入ください。(抜粋)

- ・夏の間、鉢に常に水を与えられるような環境にして欲しい。すぐに、乾燥してしまいます。
- ・地域の方や保護者などからも、緑のカーテンへの取り組みをほめていただくことができた。「温暖化への取り組みなる」「目に涼しい」などの声があった。
- ・登下校時や休み時間にすんで観察したり、写真を撮ったりして、成長を楽しみにしていました。資材を準備していただけることで、取り組みやすいと感じています。
- ・環境委員会の児童が全校のみんなのために、という意識を持つ活動ができた

- ・成長したツルレイシやヘチマを見て、喜ぶ様子が見られた。
- ・4 年生が、育成するに当たり、それぞれのプランターに名前をつけ、大変意欲的に育ててくれている。ただ、ツルレイシとヘチマで育ち方(時期)が違うので、同じ植物にした方がよいように思った。
- ・ゴーヤとヘチマが育っていく様子が分かりやすく、子どもたちは興味をもって観察することができました。また、理科の学習に活用しました
- ・意外な所で役立っていることに気づけた。
- ・今後も引き続きお願いいたします。
- ・児童も意欲的に取り組んでいたのも、よい取組だったと思います。ありがとうございました。
- ・夏休みには暑すぎて生育不良になってしまいました。育てられる場所が少ないので苦労しました。あまり日陰を感じることができなかったのが残念でした。来年度は取り組む場所を変えるなどして取り組みたいと思います。
- ・いつもありがとうございます。
- ・SDGs栽培委員会の児童が水やりを行いました。どんどん伸びていく様子にやりがいを感じていたようです。
- ・観察に使用したため、植えるのが遅くなり、生長に影響したと思う。夏の水揚げで閉庁日などで苦労した。水揚げ機などがあるといい。
- ・今後も継続して実施していきたいので、引き続きご協力お願いします。
- ・生徒は積極的に水やりや摘心に取り組んでいた。
- ・収穫したゴーヤを教職員などに配布し、生産者側の気持ちを理解することができた。
- ・生徒が栽培に触れる機会は貴重なので、来年度も参加していきたい。
- ・毎年楽しく取り組ませていただいています。
- ・つるがとても高く伸びたので、子どもたちの反応もよかったです。
- ・日々の成長を目の当たりにした結果、保護者から「伸びてる」「身が大きくなった」の声が聞こえるようになった。
- ・5 月に施設で行った緑のカーテン講習会では、育て方 DVD 鑑賞にあわせて、クイズ、おすすめレシピ紹介など関心を持ってもらう工夫をしました。レシピについては関心が高く、参加者が自ら話し出す場面もあり、それにより交流も生まれていた。
- ・施設で育てるゴーヤの苗にも、皆さんに名前を付けていただきました。(すずみちゃん・つるたろう)
- ・利用者からの意見で、育て方を後からまた確認したいときに、DVD がまた見れたら助かる。動画などの形で 유튜브 などにのせて資料に OR コードをのせてほしいと意見がありました。
- ・年々夏の暑さが厳しく、水やりが追い付かないところもあった。
- ・ラウンジの横のバルコニーで緑のカーテンを実施していたため、利用者さんに毎日ゴーヤの成長を楽しんで見て頂けた。
- ・ゴーヤが形になってくると、親子で喜んでくださった。親から子へ教えが伝わり、また小学生も始めた見たと嬉しそうにしていた。
- ・区施設だけでなく、講習会参加者に苗を配布して自宅でカーテンを作っていただく方法は豊島区全体にとって効果的と思った
- ・「これがゴーヤなんだ〜！」と興味ありげに見る利用者の方が多くいた。緑のカーテンについての話や、育ったゴーヤをあげる中で、職員や利用者同士で自然な交流を持つことができた。
- ・収穫したゴーヤは利用者に還元。
- ・ある幼児の親子は子育て室からゴーヤの成長の様子を見ていたようで施設で収穫したゴーヤと伝えてお渡しすると保護者は子どもにゴーヤを見せて子育て室から見ていたゴーヤの旨をお子さんに説明し、お子さんも興味を持ってゴーヤをみていた。親子の触れ合い、職員との交流に役立っていたと感じた。
- ・1月の事業で利用者の方と SDGs 工作としてゴーヤのツルを使ったリースを作る予定です。
- ・施設利用者と共に成長を見守っていたが、隣接地のビルにより日当たりが悪くなり成長に影響があった。ゴーヤの収穫量は小さい物が 3 個程であった。
- ・毎年ゴーヤの収穫と緑のカーテンを楽しみにしているとの声が多数聞かれた。
- ・乳幼児親子や高齢者皆さんに植えて貰い水をあげたり、花が咲いた、実がついたとみんなで育てて楽しみました。育ったゴーヤもとても美味しかったです。との声も多数ありました
- ・利用者さんからは涼しさを感じて、また収穫したゴーヤを差し上げてたいへん喜んでいただきました。
- ・利用者からは、またゴーヤの季節が来たねと期待を寄せていただきました。
- ・成った実は利用者へ配布したが、当施設で栽培して収穫していることが好評でした。
- 栽培に協力いただいている利用者は、気にかけて観察してくださる栽培の方針について相談があったり、

良い交流の機会になりました。

- ・もし肥料もご用意いただけるようでしたら、一緒に配布いただけると幸いでした。
 - ・ひろば利用者の目に触れる場所にあったため、利用者も喜んで鑑賞されていた。
 - ・身体にも目にも緑のカーテンは効果的だと感じました。
 - ・来年度も継続して実施できればと思う
 - ・ゴーヤが育っていく様子を見ている子どもも多く、ゴーヤが大きくなってくると喜んだり、職員に嬉しそうに報告していた。
 - ・道路に面しているフェンスで育てたので、通行する区民の方も見ていた。また、ゴーヤが育っていく様子が会話のきっかけになった。
 - ・児童へ花壇の草むしりや水やりの声掛けで、子ども達も楽しんでくれたと思います。
 - ・毎年の取り組みで夏の風物詩になっている。
 - ・関わった児童も生長の様子を身近に感じており進んでお世話していた。
 - ・ゴーヤの実が、完熟しはじけた際に、子どもたちと種を使って遊びをする。種を取り出すのに、水を入れた容器にいれ、ザルで濾してみることや、赤いゼリー状に覆われた中から、種が出てきたことなど、自然に触れる機会を遊びの中から楽しめた。
 - ・収穫したゴーヤを年長男児が手にし、今後どうしようか思案する姿や、遊びに使うという嬉々とした表情が印象的だったのか、後日年長女児がアイロンビーズで、あの日のゴーヤを再現していた。
 - ・去年に比べて育ちが悪く、植物でネットがあまり覆えなかった。雨が多く、日照時間も少なかったのも育ちが悪い要因かもしれない。
 - ・ゴーヤと朝顔のミックスは去年と同様で夏らしさが出た。”
 - ・ゴーヤの成長する様子を園児たちは興味を持って見ていた。
 - ・大きくなるのを楽しみにしていたが、横に広がる育て方が難しかった。苗をもらう際に育て方が付いてくると若い職員も育てやすかったと思う。
 - ・大きくはならなかったものの花が咲き、実がなるところは観察することができ、黄色く熟す様子も見ることができ良かった。来年も挑戦したいです。
 - ・毎年、気温が高く上手に育てられないので、暑さ対策なども教えていただけるとありがたいです。
 - ・へちまやゴーヤの成長だけでなく、葉っぱや虫にも興味を持ち観察する姿がみられ、身近な自然に触れる機会となっているので、今後もぜひ継続を希望します。今年の夏も貴重な経験をさせて頂き、ありがとうございました。
 - ・育ちが悪く小さなゴーヤしかできなかったが、それでもゴーヤの花や実が育っていく様子を子どもたちと楽しむことができた。
 - ・いつも苗をいただき、緑のカーテンへの取り組みへとつながっている。ただ、ここのところ猛暑でなかなかうまく育たない。そういった場合の育て方を教えてほしい。
 - ・ゴーヤの生育を楽しんで、日々の観察や、水やりも頑張っていました。生育状況があまりよくなく、カーテンという意味合いでは残念であったが、小さなゴーヤの実も、子どもたちにとっては愛おしい存在となっていた様子です。
- 何となく涼し気に感じるような気がする。実がなるのは嬉しい。
- ・創造館の業務として、日々緑に接する機会を設けて頂きありがとうございました。
 - ・利用者の方には、例年の様子と比べたり、関心をもって成長を見守っていただいた。
 - ・会話のきっかけにもなり、ベンチでのひと休みの時間をなごやかにすごしていただけた。
 - ・自然現象に対する関心が高まった
 - ・児童からは、栽培した植物について学ぶことで知識が増えたことを喜び、植物に興味を持つようになったとの声が聞かれた。また、アサガオなど、花を咲かせる植物を育ててみたいと希望する児童も多く、植物の栽培に対する関心の高まりが見られた。中には、ゴーヤ特有の苦味を感じさせる匂いに驚く児童もあり、実際に植物に触れ、育てることを通して、普段の学習だけでは得られない経験につながった。
 - ・年々、酷暑が続き、水やり等大変になってきている。避暑や環境教育には大変有効ではあるが、なんらか対応を考えなくてはいけない様子もあった。
 - ・緑の植栽により、環境への負荷を軽減するための良策であると感じている。「カーテン」の効果を実感できるためには、質の良い「苗」や「水の管理」等、植物の生育を助けるための環境整備も必須である。